

奥村のり子 の  
読者ニュース

2017年12月17日 第293号  
——奥村のり子生活相談所——  
〒640-8212 和歌山市杉ノ馬場 1-11  
☎ & FAX 073-427-7121  
Eメール w-jcpken@naxnet.or.jp



ノーベル平和賞授賞式での  
被爆者の演説に感動しました

今年のノーベル平和賞の授賞式が10日、ノルウェーであり、核兵器禁止条約採択への貢献が評価された国際NGO「核兵器廃絶国際キャンペーン」(ICAN・アイキャン)にメダルと賞状が贈られました。広島で被爆しカナダ在住のサロー節子さん(85)の演説は日本語で約3000字超ですが感動しました。ごく一部ですが抜粋します。

「核兵器と人類は共存できません。広島と長崎で非業の死を遂げた全ての人々の存在を感じ取って頂きたい。米国が最初の核兵器を広島に落としたとき私は13歳。8時15分青白い閃光で建物の中にいた同級生の殆どは生きたまま焼き殺されました。核兵器の開発は、国家の偉大さを表すものではなく、暗黒のふちへと墮落です。核兵器は必要悪ではなく、絶対悪です。今年7月7日、圧倒的多数の国々が核兵器禁止条約を採択したとき感極まりました。私たち被爆者は72年にわたり核兵器の禁止を訴えてきました。

核武装国の政府、「核の傘」の下で共犯者の政府の皆さん。私たちの証言を聞き、警告を心に留めなさい。あなた達は人類を危機にさらしている暴力システムに欠かせない一部分だ。世界のすべての国の大統領や首相たちに懇願します。核兵器禁止条約に参加し、核による絶滅の脅威を永遠に除去してください」

以上1割程度に縮小。情けないのは被爆国日本の首相が条約を無視し節子さんの言う「人類の危機」を拡大していることです。(編集室)

のり子の週刊日誌(主なもの)

- 15日 常任委員会予備日、赤旗日曜版記者講演会
- 16日 河西後援会宣伝、立憲民主党講演会
- 17日 会議
- 18日 本会議、国会議員懇談、予算要望懇親会、市駅前無料生活相談
- 19日 本会議閉会、サクソホン演奏会
- 20日 会議
- 21日 団会議、市駅前無料相談

一般質問の内容順次お知らせ  
今週はメガソーラー問題です

12月議会の一般質問の内容と当局答弁を週ごとに順次ご紹介いたします。

質問時間は1時間です。4項目10点にわたって質しました。沖縄の問題をはじめ有功・直川メガソーラー計画・水害対策・国保改革についてです。今週はメガソーラーについてお伝えします。

当局は10月16日に事業者から海草振興局農林水産振興部林務課に林地開発許可申請が提出され、10月27日に返却したと記者

発表しました。その内容について議会で確認しました。開発行為が区域内の権利者の同意書や開発行為に対する利害関係者の同意書等の必要な書類が一部添付されていなかったためという理由です。利害関係者とは開発地に隣接または下流域の直近に位置し、開発の影響を



12月11日  
質問に立ちました

パブリックコメント

今和歌山市では、メガソーラーの建設について、「和歌山市環境と大規模な太陽光発電設備設置事業との調和に関する条例(骨子)」を作成し、来年2月の条例制定に向け、市民の方に意見募集(パブリックコメント)を実施しています。

メガソーラーについては、現在、鈴鹿電設が園部・六十谷・直川地域に計画しており、県に林地開発の許可申請をしています。開発規模は72・49haで県の環境影響調査の対象外です。計画地の下部には県の土砂災害マップで土砂災害特別警戒区域となっており、私はこれまで議会で「和歌山市として災害の危険性のある地域に建設させないための条例を作るべきだ」と質問してきました

遠慮なくあなたのご意見をどうぞ

**意見の提出方法**  
郵送・FAX・Eメール・持参  
〒640-8511  
和歌山市七番丁23  
和歌山市役所 環境政策課  
FAX 435-1366  
Eメール  
kankyoseisaku@city.wakayama.ig.jp

だが、市長は、「林地開発の中で県に意見を言う」と答弁していました。今回の条例の骨子には、許可の申請の中に①排水施設その他土砂等流出および崩壊を防止するための計画との項目もあり、やっと動き出したということ。ただし、この条例は今後の申請が対象の骨子は、制度は許可制。対象事業は大規模な太陽光発電設備を設置する事業。事業区域の面積が25ha以上。対象地域は市内全域。審議会の設置。説明会の義務づけなどとしています。詳しい内容は環境政策課のホームページや市政情報コーナーで見ることができます。締め切りは12月26日です。是非多くのご意見をお寄せください。

党市議会議員  
南畑さち代

